

協働した担い手づくりと共感を得るための担い手養成

たすけあい活動団体の意見を活かして担い手養成や啓発活動に取り組んでいます。顔の見える関係を築いていったことで協働による取り組みが進んでいます。

協働した担い手づくりと 共感を得るための担い手養成

島根県出雲市 作成：社会福祉法人 出雲市社会福祉協議会



きっかけは、たすけあい活動団体からの声！

出雲市には、住民主体のたすけあい活動団体が10団体もあるんです。
その特徴を活かし、顔と顔の見える関係をつくるための連絡会を開催しています。
団体の実態調査をしたところ「こんなつぶやきが・・・」

「住民の多くは、わたしたちの団体のことや活動を知らない。PRする場が欲しい！」
「高齢化して、担い手が少なくなっている」



確認



行政・さわやかインストラクターと定例会

毎月、行政、さわやかインストラクター、包括、保健所などと定例会を開催。
どのようにすれば、担い手が増えるかね～

「ホームページに掲載したら」
「住民に直接プレゼンできる場があったらいいね！」
「団体の活動を掲載したパンフレットはどうだろう」
「社会福祉協議会で、担い手の勉強会をしたらどうか」



たすけあい活動団体と協働した地域での支え合いの体制づくり



各地域に支え合いの必要性を啓発する「地域支え合い研修会」にたすけあい活動団体とともに働きかけ、直接団体の活動をPR

POINT！ 「直接団体が住民へPR」
私たちの活動を「知ってください！」
困っている人があれば「紹介してください！」
私たちと一緒に「活動しませんか！」

利用者の声・体験型・さわやかインストラクター参加型の「勉強会」



POINT！

- ①さわやかインストラクターによる基礎知識の学習
- ②「みんなでやってみよう！訪問助け合い活動」
公益財団法人さわやか福祉財団テキストの活用
- ③家事を意識した高齢者の困りごとあるある体験
- ④たすけあい活動の利用者・協力者が思いを語る
- ⑤活動の場の紹介（たすけあい活動団体パンフレット）



「困ったときに助けてもらい、ありがたかったわ。」